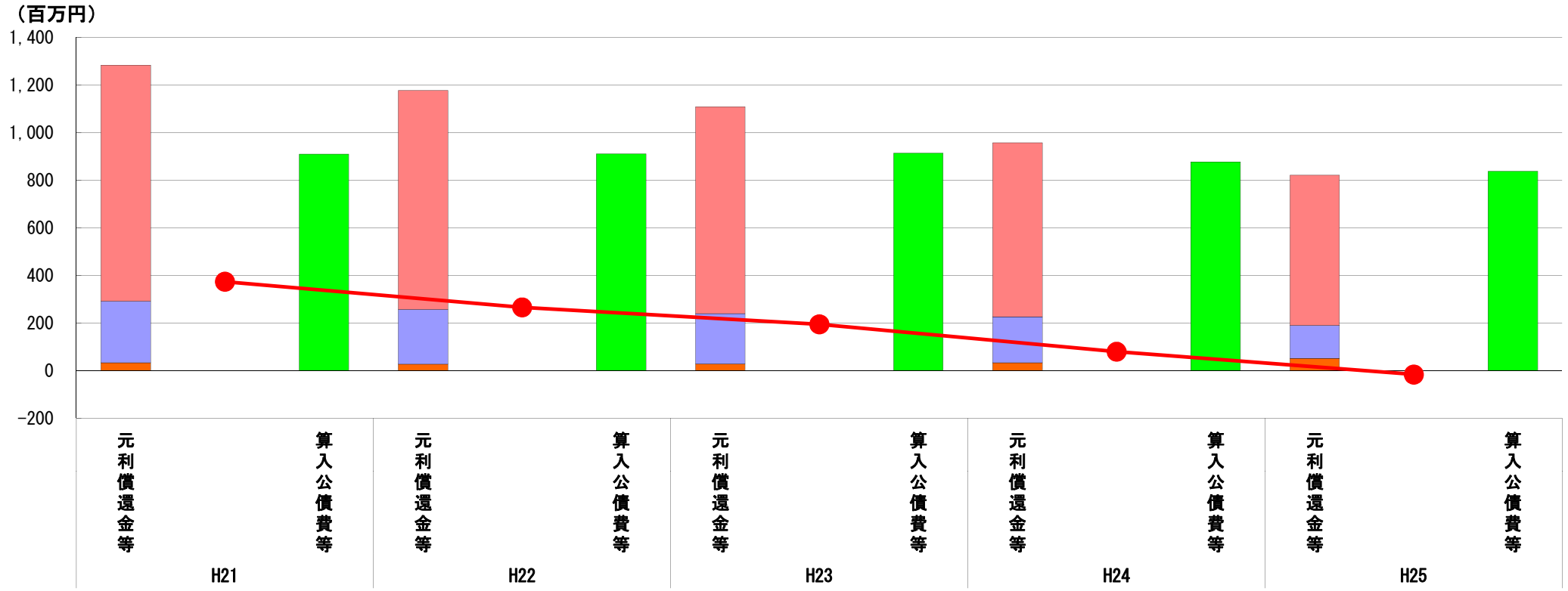


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

長野県下諏訪町



分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金		992	920	869	730	631
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		258	229	211	193	138
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		34	28	29	34	52
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利息		0	0	0	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		910	911	914	877	837
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		374	266	195	80	▲ 16

**分析欄**

実質公債費比率の分子を引き下げた大きな要因は次の2点である。

①「元利償還金(公債費充当一般財源等額)」は、一般会計債の元利償還金が対前年度99,170千円減と公債費に充当可能な都市計画税の対前年度8,332千円減少分を含めると、差引公債費充当一般財源等額は対前年度90,838千円減の結果となった。

②「公営企業債の元利償還金に対する繰入金」は、一般会計から下水道事業特別会計への公債費充当分繰出金(対前年度△55,106千円)の減と、着実に進めている起債償還による下水道事業債の元利償還金の減を合算し、総額54,861千円減の結果となった。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。